

加持橋川線について

23年度に部落要望

まちづくり課長



あぜ ち かず ひろ 議員 畦地 一弘

いができるばあな道路にせな
いかん。町道の基準はそれじ
やけん、そればあな所は通れ
るようにせないかんとしたも
んじゃ。

言いたいことは、職員は黒
潮町内全部のことを考えて事
業をすべきた。町民のことを
考えて加持橋川線が出来た
ら、これは町民が全部使う道
路やけん、この道路を作っ
たら、皆の道路になる。

この改良事業は、過疎地域
自立促進計画の中でやれない
か。過疎で全面改良でやって
もろうたに越したことはない
が、これがどうしてもできん
なら、救急車とそれからトラ
ックの普通車が通るくらいな
道路にできるかできんか聞き
たい。

問 加持橋川線は部分改良では
今の救急車は通れない。普通
車のトラック、救急車の通れ
る道路に改良すべきと思うが
町の姿勢を問う。
加持橋川線の改良は、もの
すごい遅れてきた。あの道は
2m60cmしかない道路で、行
き違いができる所じゃない。
救急車が入りよったら車が来
よって、救急車が来たけんい
うてそれでバックしてよける
というようなことは絶対にで
きん。救急車が入り、行き違

答

浜田 まちづくり課長

松田 総務課長

加持橋川線を過疎計画に入
れて整備するようにという考
えはないかということについ
ては、基本的には橋川地区の
幹線道路としては県道岡本大
方線につながる橋川線のほう
を考慮しており、計画に入れて

改良はできるが、現在の財政
状況、利用頻度、黒潮町の特
に大方地域全体の道路状況か
ら考えて、計画変更をしての
道路改良とまではなりにくい
と思っている。

同路線については、現在町
道の管理の中で21年22年と舗
装整備を600mぐらい行っ
ており、更に23年度について
も同様にこの管理の中で対応
していきたいと考えている。
また、23年度については生
活環境計画を樹立することに
なっており、その中で町道に
ついての整備計画を立てるよ
うになっている。緊急性、公
共性、部落要望等を考え協議
したい。

またこの加持橋川線に連絡
する県道があるが、県道大用
大方線、県道岡本大方線の整
備についても要望等は行って
おり、推進を図る意味で要望
等を行っている。

特に県道大用大方線につい
ては、現在加持田村の線形拡
幅について23年度は家屋の移
転補償を行うようになってお
り、整備が図られるようにな
っている。

また岡本大方線についても、
御坊畑地区の集会所へ渡る橋
の右岸上流140mの拡幅が
本年度採択、設計されて、両
路線とも一連の効果促進とい
うことで引き続き要望活動を
行って連携する路線として整
備を図っていききたいと思っ
ている。



橋川集落から見る加持橋川線